

公益財団法人安城市学校給食協会  
令和4年度第2回評議員会議事録

- 1 開催日時 令和4年11月18日（金）12時から午後1時15分
- 2 開催場所 安城市北部学校給食共同調理場 2階研修会議室
- 3 評議員数等
  - 総評議員数 6名
  - 出席評議員数 4名
  - 出席評議員 三星元人、杉浦実憲、黒柳二三子、石川朋幸
  - 欠席評議員 浦田士郎、中村麻理
  - 出席理事 石川良一（理事長）、宮川 守（副理事長）
- 4 評議員・役員以外の出席者
  - 澤田敦至（教育振興部総務課長）
- 5 事務局
  - 鈴村公伸（事務局長）、岩瀬康二（事務所長）、荒川 智（北部調理場施設長）、大見千里（中部調理場施設長）、鈴木栄一（南部調理場施設長）
  - 榎本幸枝（協会栄養士）、北越里佳（事務局）、久野 武（事務局）
- 6 議題
  - 報告事項1 令和4年度補正予算について
  - 報告事項2 令和4年度予算執行状況について
  - 報告事項3 令和4年度事業実施状況について
  - 報告事項4 「学校給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージ」の入選作品について
  - 報告事項5 学校給食レシピコンテストの結果について
- 7 会議の概要

(1) 理事長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の第8波のピーク予想が出ており、学校ではとても心配している状況の中で学級閉鎖も増えてきている。今年から高校入試の制度が変わったことがあり、中学3年生の2学期までの成績が重要になるため、特に中学3年生の2学期のテストでは支障がないように、かなり気を付けている。完全黙食の解除についても、教職員たちはどうしたら良いのか、正直なところ悩んでいる状況である。学校給食については、今後も公益財団法人として一層の努力をしていくので、引き続きご指導、ご協力をお願いしたい。

(2) 理事長の職務執行状況報告

職務の執行状況については、新型コロナウイルス感染症の大きな影響もなく、給食事業が順調に運営できている。他の事業では、先の評議員会以降に新規の事業として、市制施行70周年記念事業「学校給食レシピコンテスト」、「夏休み！ワクワク調理場探検」が盛況に開催できた。また、来年度から開始される乳のアレルギー除去食の準備としてテスト調理が始まった。新規の事業については、議

題の報告事項の中で詳しく説明する。また、10月5日には監事による中間監査を受け、適正な会計処理が行われていることが確認された。

### (3) 理事長による議題説明

報告事項1の令和4年度補正予算について、ガス料金が高騰しており調理場管理運営事業の光熱水費が当初予算で不足する見込みであったが、市施設の光熱費について9月補正で見直しが行われ、市からの委託料を1,000万円増額するものである。

報告事項2の令和4年度予算執行状況について、報告事項1のとおりガス料金が高騰しており、4月の立米単価が88.06円だったものが11月は122.09円、3月は150.41円を見込んでいる。

報告事項3の令和4年度事業実施状況について、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた親子給食調理教室を開催することができた。また、新規の食育推進事業を2事業立ち上げた。

報告事項4の「学校給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージ」の入選作品について、夏休みの宿題として課題を課さなくなったため、応募数が減少しているが、普段子どもたちと接することの少ない調理員のモチベーションアップに繋がっている。

報告事項5の学校給食レシピコンテストの結果について、196点の応募があり10名の方が入選された。

### (4) 出席数の確認

事務局長より、中村麻理評議員、浦田士郎評議員が欠席であるが、定款で定める定足数を満たしており、会が成立することを確認した。

### (5) 議長の選出

定款の規定に基づき、出席した評議員の互選により三星元人評議員を議長に定めた。

### (6) 議事録署名人の選出

定款の規定に基づき、議長の三星元人評議員と出席した評議員の中から黒柳三子評議員及び石川朋幸評議員を議事録署名人に定めた。

### (7) 議長あいさつ

新型コロナウイルスが第8波に入ったということで、コロナと上手に付き合っていく必要がある。今年度は七夕まつりを3年ぶりに開催した。ただし、露天商を無くすなど規模を小さくしている。また、市制施行70周年で様々な事業を行っているが、先週に安城市出身のプロレスラー岡田和睦（おかだかずちか）選手の凱旋興行を開催した。安城市でのプロレス興行は38年ぶりであった。東京オリンピックの聖火ランナーとして彼が選ばれた際に、安城で興行を行いたいという話があり実現したものである。学校給食については先ほど話があったとおり給食レシピコンテストを行った。また、市の今後の予定として、12月議会、当初予算の編成が始まったところである。12月議会では、昨今の物価高騰に対する市民への支援として補正予算を予定している。報道発表前だが、指定管理に対す

る補償、民間児童クラブへの支援、農家への肥料価格高騰に対する支援、水道の基本料金の無料化を来年4月まで延長すること、子育て世代への臨時給付金を予定している。

#### 報告事項1 令和4年度補正予算（第1号）について

事務局長より、令和4年度補正予算（第1号）について「令和4年度補正予算書（第1号）」により説明を行った。経常収益の事業収益にある業務受託収益の総務課分が1,000万円の増額となっており、それに対応して経常経費の事業費の光熱水費が1,000万円の増額となっている。また、4月に立米当たり88.06円であったガス料金が、11月現在で122.09円と高騰しており、今後もロシアのウクライナ侵攻により高騰が続くものと見込まれており、3月には150.41円が予測されている。今回の補正は安城市が市の施設のガス料金を見直す9月補正を行ったことによるもので、先行きが不透明ということで、11月以降を3月の見込み単価で積算している。

議長より報告事項1の説明について質疑を求めたが、質疑はなく報告事項1の説明を終了した。

#### 報告事項2 令和4年度予算執行状況について

事務局長より、「令和4年度予算執行状況報告書」により説明を行った。貸借対照表について、9月に委託料、補助金を受領しているため、流動資産の現金預金が大きくなっている。また、退職の近い職員が減ったことから、固定資産の特定資産にある退職給付引当資産が減少している。正味財産増減計算書について、前年度にあった北部新場の準備に関する委託料が減額されているため、経常収益の事業収益が前年比で2千4百万円余の減となり、それに対応した経費も減となっている。また、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖が1学期は多かったため、経常経費の給食物資購入費が減額となっている。財産目録で、流動負債の未払金は9月分の経費に関するものである。正味予算管理月報と次の事業別令和4年度予算執行状況について、前年度と同様に順調に執行されている。中間監査確認事項について、10月5日に大見監事、林監事に実施していただき、特段の指摘事項もなく適正に会計処理が行われていることを確認していただいた。

議長より報告事項2の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

#### 石川朋幸評議員

物価の高騰について、5月の評議員会では栄養価を確保しつつ給食をやり繰りできるとの答弁であったが、その後も物価の高騰が続いており、子供たちの給

食に影響が及ばないように市費での補填が必要と考えるが、状況を教えてほしい。

#### 給食事務所長

食用油など高騰しているものもあるが、9月末まででは給食物資の急激な高騰は起こっていない。しかし、今後も物価の高騰が予測される。例年は給食費の100～100.3%内で執行し、毎年学校行事などで給食が中止等で不執行となった残予算3,000万円程度は市へ返還しているが、今年度は物価高騰で食材費が上がればその分に充当しても良いと教育委員会から了承をいただいている。また、来年度については、今後も続く物価高の対策として、今年度の賄い材料費の3%上乗せ予算の要求をしている。

議長より報告事項2について他に質疑を求めたが、他に質疑はなく報告事項2の説明を終了した。

#### 報告事項3 令和4年度事業実施状況について

給食事務所長より「評議員会資料」をもとにプロジェクターを用いて説明を行った。食育推進事業の(1)給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージの募集事業の詳細については、次の報告事項4で報告する。(2)親子給食調理教室開催事業について、小学生とその保護者を対象に人気の高い献立であるビビンバを調理していただいた。3年ぶりに会場は碧信ギャラクシープラザの料理実習室にて行った。コロナ禍で料理実習室の人数制限があり、8組16人の参加となった。(3)調理場施設見学・試食会事業については、来年の4月に市内の小学校、安城市立の保育園等に入学・入園する保護者を対象に開催しており、北部調理場では一昨日16日15名、南部調理場では昨日17日9名の予定であったが、1名欠席で8名の参加でそれぞれ実施した。中部調理場では来年2月8日を予定している。(4)夏休み!わくわく調理場探検では、今年度初めて北部調理場で開催した。普段立ち入れない調理場内で、調理方法や調理器具の使い方を体験することで、より給食に関心を持ってもらう機会になったと思う。(5)地元食材の啓発事業については記載の通りである。今年度の食育通信では「米」をテーマに作成中である。(6)の市制施行70周年記念事業学校給食レシピコンテストについては、報告事項5で説明する。(7)の食育普及啓発事業についても、コロナウイルス感染症の影響を受けており、小学校からの申し込みは無かった。なお、この事業に含まれているホームページを活用した食育推進については、給食人気メニュー簡単レシピに「高野豆腐の卵とじ」と「かきたま汁」の2メニューを追加している。(8)北部調理場の紹介DVDについては、現在作成中で年度末には完成予定である。物資購入事業については、本年度11億6千7

百万円余の予算で給食の食材を購入している。学校給食法では父兄が食材費を負担することとなっているので、給食費を100パーセント使用し、かつオーバーした部分は市の負担となるので、100.3パーセント以内での執行を心がけている。収支バランスは9月末ですべて含め、99.82%となっているが、今後も物価の高騰が予想されるため、物価高騰分は市費で補填し、栄養価はもちろん、おいしい給食を提供していく。給食調理事業について、基準食数は少子化による減少と思われ、少しずつ減少している。実施回数については、今年度はコロナウイルスの影響も少なく、今年度は休校がなく、例年と同様の給食を実施している。

議長より報告事項3の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

石川朋幸評議員

給食調理事業の基準食数で保育園が400食減っているがその理由を教えてください。

給食事務所長

市では令和元年から幼稚園・保育園の一部をこども園に移行している。令和元年度は安城幼稚園、さくの幼稚園を、令和3年度は安城北部幼稚園、東栄幼稚園を、令和4年度は城ヶ入保育園、東部保育園、高棚保育園、えのき保育園、三ツ川保育園をこども園に移行しており、その分保育園の基準食数が減っている。また、こども園、保育園を合わせるとR3が4,511食、R4が4,383食と128食減っている。これは少子化の影響と思われる。

三星元人評議員

比較的定員に余裕のある保育園をこども園に移行している。

議長より報告事項3について他に質疑を求めたが、他に質疑はなく報告事項3の説明を終了した。

報告事項4 「学校給食に関する思い出の作文、絵画・ポスター及びメッセージ」の入選作品について

給食事務所長より「評議員会資料」をもとにプロジェクターを用いて説明を行った。学校給食に関する作文及び絵画・ポスターについては小学校6年生を対象に、調理場で働く人へのメッセージは中学校3年生を対象に募集した。応

募点数は記載の通りで、作文、絵画・ポスターは減少したが、メッセージは増加した。

作文の入賞作品は記載の通りで、審査員からの講評は以下の通りであった。

- ・市長賞の作品は「保育園から食べ続けてきた給食と、自身の成長のかかわりが素直にかけている。」
- ・議長賞の作品は、「親子給食で自分で作ったビビンバ。センターの皆さんの苦勞が体験から理解ができた。」
- ・教育長賞1の作品は、「筋道が整っていて給食の良さが伝わってくる。」
- ・教育長賞2の作品は、「タイトルが良い。給食当番の体験から、給食の意義に迫っている。」

絵画・ポスターについての入賞作品は記載の通りで、審査員の講評は以下の通りであった。

- ・市長賞の作品は「明るくて、楽しくて、食べると元気になるのが伝わってくる。書き方も丁寧」
  - ・議長賞の作品は「食材全般に愛を感じる。食材を調理していないがそれがよく伝わる。」
  - ・教育長賞1の作品は「男の子の食べたい気持ちを表しているところが良い」
  - ・教育長賞2の作品は「大好きなメニューということがストレートに伝わる。」
- 調理場で働く人へのメッセージについて入賞者は記載の通りで、給食に対する気持ちと、調理員への感謝が伝わる作品が多く、150字程度なので生徒たちも参加しやすい部門であると思う。また、調理員も子どもからたくさんのあたたかいメッセージをもらい、とても嬉しそうにしていた。

入賞作品の講評については、以下の通りであった。

- ・市長賞の作品は「調理員さんへの感謝の気持ちが良く込められている内容」
- ・議長賞の作品は「給食を本当に楽しみにしているのが伝わる内容」
- ・教育長賞1の作品は「給食を作ることにかかわる人への感謝の気持ちがよく伝わりました」
- ・教育長賞2の作品は「七夕やクリスマスなどの時の行事食への思い出がよく伝わってきました」

現在、入賞の作品集を作成中で、完成次第皆様へ送付する予定である。

議長より報告事項4の説明について質疑を求めたが、質疑はなく報告事項4の説明を終了した。

## 報告事項5 学校給食レシピコンテストの結果について

給食事務所長より「評議員会資料」をもとにプロジェクターを用いて説明を行った。この事業は、安城市の市制施行70周年を記念して行い、家庭でも調理場でも調理できる地場産物を使用した一品料理のレシピ募集である。応募資格は、市内在住、在学の人で、応募条件としては、「①加熱を基本とした料理であること。」「②大量調理の学校給食で提供するのに適したレシピであり、アレンジ可能であること。」「③応募レシピがオリジナルで未発表であること。」「④一品300円程度で作れるもの。」とした。応募総数は196点あり、1次審査では協会栄養士等が大量調理に適しているか、料理の彩やアピールポイントなどを審査し、10点を選定し、そのうち、上位4点を、市長、議長、教育長、評議員の黒柳様、中村様に実際に試食していただき市長賞、議長賞、教育長賞を決定した。最終審査、表彰式の様子、作品はプロジェクターで見てもらった。最終審査には、中日新聞、キャッチネットワークの取材があり、表彰式も、キャッチネットワークの取材があり、市長賞を受賞された天野さんの取材状況も放映された。

市長賞の「安城ハーモニーカレー」について、最終審査の審査員の方からは、「カレー風味が良い」、「見た感じも美味しそう」、「子どもの好きな味で人気メニューになりそう」との講評をいただいた。このメニューは2月の学校給食に提供する。議長賞の「安城いっぱいガパオライス」について、審査員の講評は、「全体のバランスが良い。好みの味」、「食感が楽しめた」、「ユニークな味のあたらしいガパオライス たくあんが良い」、「味もとてもよく、食材も多く食感もシャキシャキがあり楽しい」との感想をいただいた。教育長賞の「安城産野菜たっぷりあんかけラーメン」について、審査員からは「味も程よくパンチが効いてよい」、「あんがからむのは確かに良いと思いました」、「完成度の高いメニュー」との講評をいただいた。どの料理も工夫がされており、美味しく、審査員全員選考が非常に難しかった。

議長より報告事項5の説明について質疑を求めたところ、次のとおり質疑があった。

### 黒柳二三子評議員

レシピコンテストの審査をしたが、地元食材が多く使われて味もとても良く、こういった事業をすることで益々給食に関心をもってもらえるものと思う。私は議長賞のメニューが良いと感じたが、給食では目玉焼きがネックなのかとも思った。給食にするには工夫がいると思う。

石川朋幸評議員

市長賞の安城ハーモニーカレーは2月の給食で提供されると聞いたが、せっかくの優秀作品なので、レシピの2位、3位も給食で提供してはどうか。要望としてお願いしたい。

杉浦実憲評議員

昨年、3年生が給食レシピを考えるという学習をしたことがあって、地域でも評判が良かった。レシピを反映するのを是非やってほしい。

給食事務所長

献立は県の栄養教諭が作っているので、実現できるようにお伝えする。

議長より報告事項5について他に質疑を求めたが、他に質疑はなく報告事項5の説明を終了した。

議長は、以上をもって議案の審議を終了した旨を述べ、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名及び押印する。

令和4年11月18日

議長 ⑩

議事録署名人 ⑩

議事録署名人 ⑩